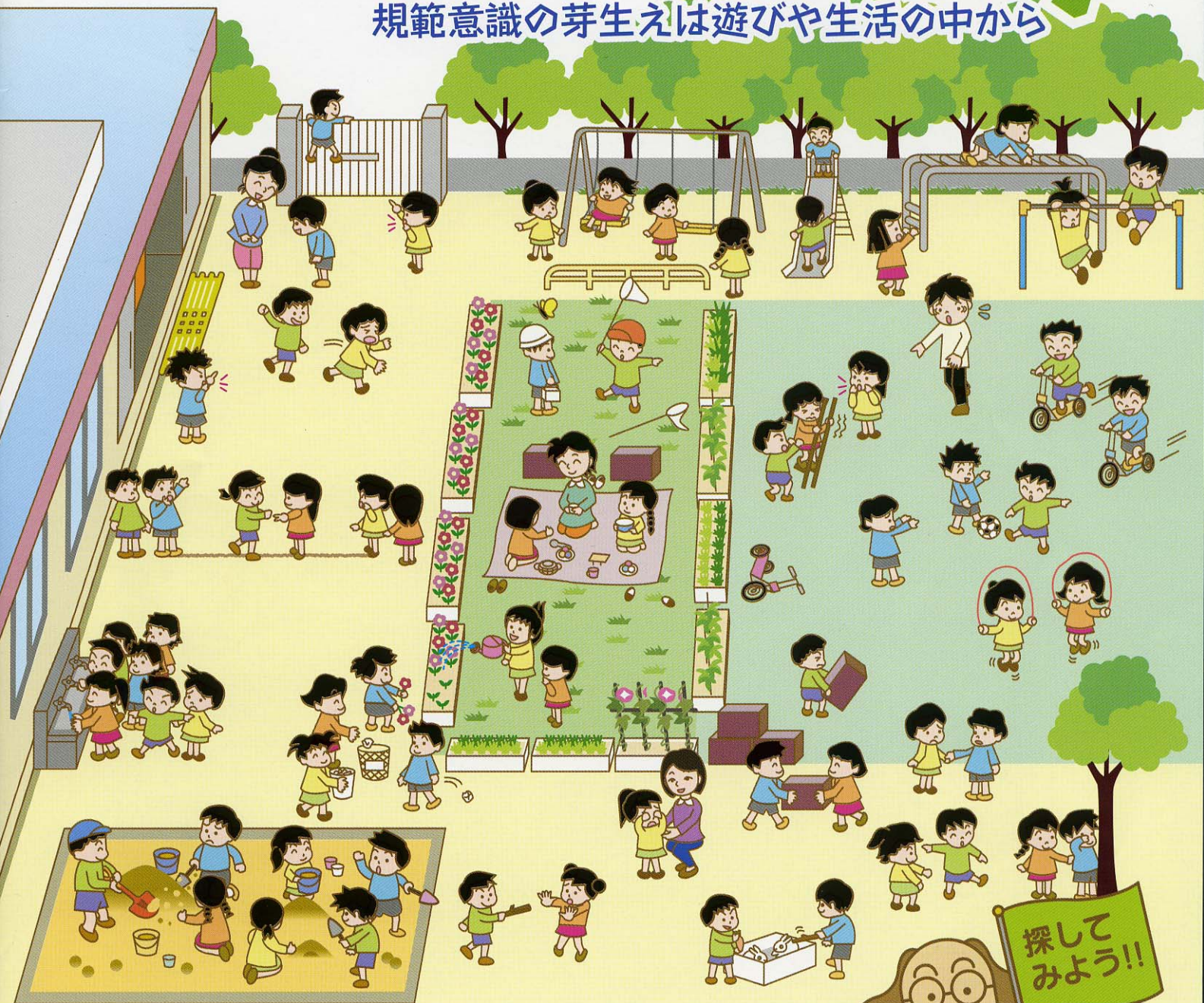


あなたの
活用力を問う
リーフレット

育てよう

規範意識の芽

規範意識の芽生えは遊びや生活の中から



この表紙の中に、“規範意識の芽”はいくつあるでしょう？
あなたはいくつ発見できますか？

このリーフレットは、規範意識について、教員・保護者が共に考え、幼児期からはぐくんでいくことを提案する資料です。

データや具体例を示し、コピーして園内研修や保護者会等で活用できるように作成しました。あなたの活用力に期待します。



子どもの心によりそい、 規範意識の芽生えを培うために

幼稚園の果たす役割は大きい

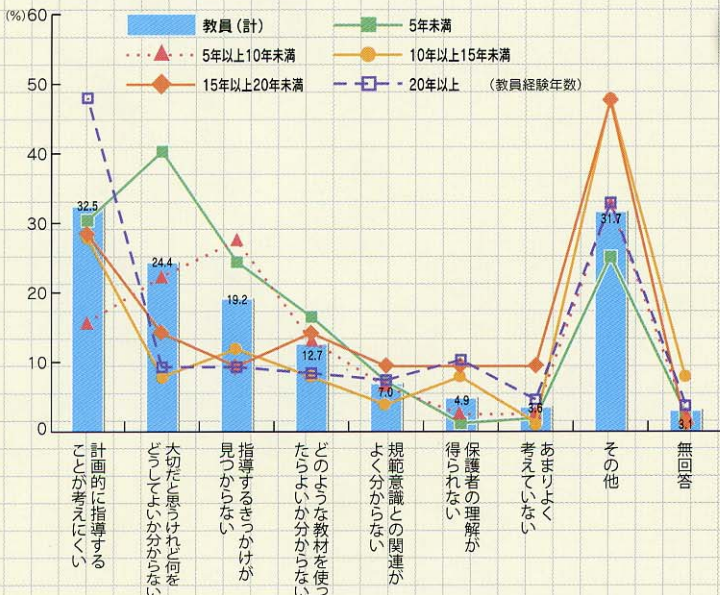
「規範」とは、社会のルールや公共のマナーなど、それに従うことが期待される行動の型です。規範意識をはぐくむためには、幼児が規範を守る必要性に気づき、自ら守ろうとする体験の積み重ねが重要です。

右図は、「規範意識の芽生え」を培うために、幼児期に体験してほしいことを表したものです。幼稚園は、これらの体験ができる場であり、規範意識の芽生えを培う上で幼稚園の果たす役割は大きいのです。



なかなか実践できないのは何故！？

グラフ1 <実践できない理由>



大切だとは分かっているけど、計画的に育てられるとは思えないなあ...



規範意識の芽生えを培うことが大切だということは分かっているけれど、実践は難しいと考えている教員は少なくありません。その理由は、グラフ1のとおりでした。

「規範意識は、ケンカやトラブルの場面など偶然に起こった場面をとらえて指導することだと思う」「規範意識を、意図的計画的に指導することに違和感を感じる」という声も聞かれますが、果たしてそうなのでしょうか？

規範意識はどのような経験の中で育つのかをとらえ直すことで糸口は見えてくるはずですよ！

規範意識の芽は、いたるところにあります！

- 親子の触れ合い活動や当番活動、ルールのある遊びなど計画的に指導する機会はたくさんあります。見直してみましょ。
- 夢中になって遊ぶ中にこそ規範意識が育つ土壌があります。体験の積み重ねを大切にしましょう。



p3~4へ！
見直してみよう！
生活や遊び...

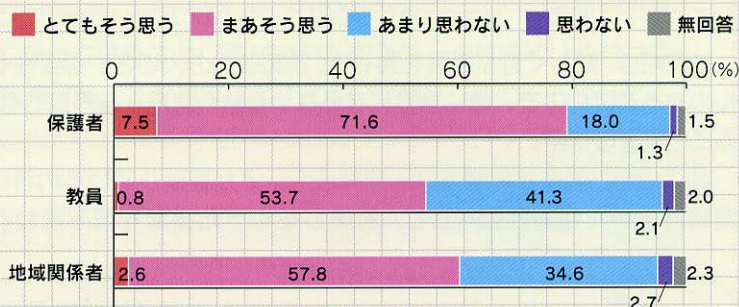
～保護者の行動化を目指して～

保護者と教員の意識にはかなりのズレ

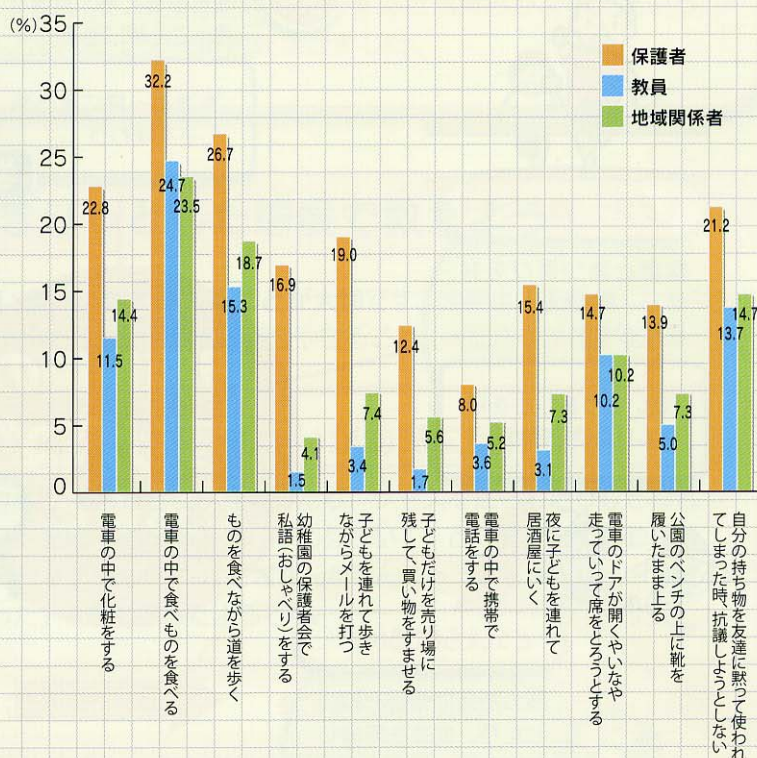
アンケート調査から、規範に対する保護者と教員の意識には、いろいろな面で大きなズレがあることが分かりました。グラフ2にあるように、「子どもたちが概ね年齢相応の規範意識が身に付いている」と保護者の7割以上が思っていますが、教員は約5割です。

グラフ3は、同じ行為に対する気になり方の違いです。保護者と教員とで気になり方に大きな差が見られます。教員の“当たり前”が、必ずしも保護者の“当たり前”にはならない！という現実が見えてきます。

グラフ2 <概ね年齢相応の規範意識が身に付いている>



グラフ3 <同じ行為に対する気になり方の違い>
スコアは「気にならない」の率



ズレがあるのは分かったけれど、どうすればいいんだろう？



だからこそ家庭への働きかけを！

社会全体としての規範意識をはぐくむ力が弱くなり、秩序が失われつつある今、子どもたちの規範意識をはぐくむ上で、家庭の果たす役割はますます大きくなっています。

保護者と教員の意識にズレがあると言っても、規範意識を育てる大切さは、保護者も感じています。しかし、どのように行動したらよいか分からないなど迷いが大きいようです。だからこそ、行動化を促す働きかけが必要なのです。

規範意識をはぐくむ家庭の役割について、幼稚園から発信していきましょう！

- 保護者と教員の意識のズレを受け止めた上で、保護者の心に伝わる働きかけを工夫しましょう。
- 具体的な行動の中で規範意識をはぐくまれます。行動化のヒントを提案していきましょう。



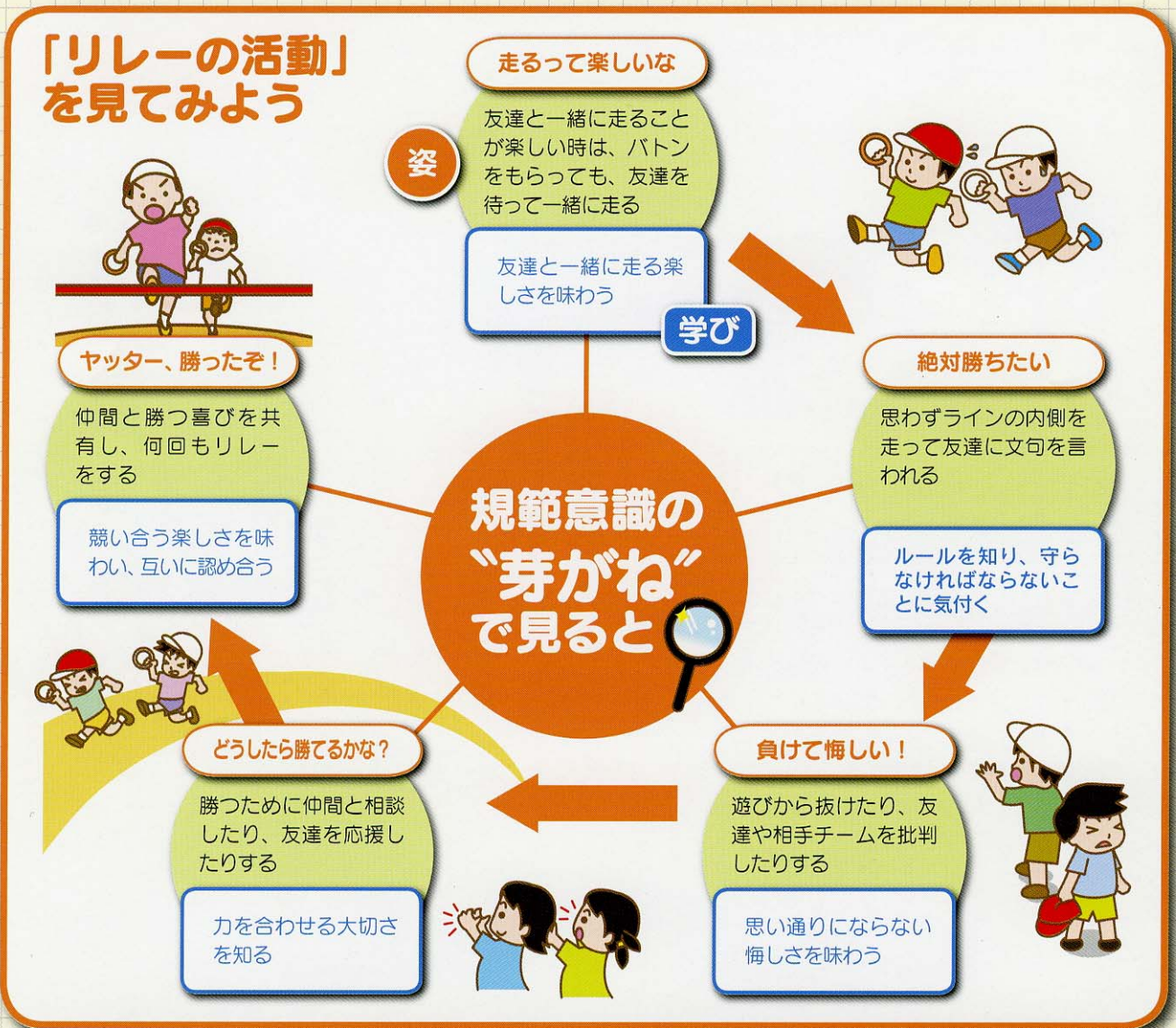
p5～6へ！
保護者に伝える
ヒントや具体例紹介

規範意識をはぐくむために

1 ルールのある遊びは規範意識をはぐくむ学びの宝庫！ 積極的に取り入れよう！

幼児期は、楽しく遊ぶ経験を通して、規範意識の大切さや必要性を感じ取らせていくことが大切です。例えば、ルールのある遊びの中で、思い通りにならない経験や葛藤を繰り返しながら、楽しく遊ぶためにはルールを守る必要があることを学びます。

遊びの中で学ぶ規範意識は、幼児一人一人が経験している内容によって異なります。だからこそ、**幼児の発達や実態に沿った指導計画を立て、見通しをもった指導を積み重ねることが大切です。**



遊びの中には、規範意識をはぐくむ“学びの可能性”がたくさんあります。鬼遊びやゲーム遊びなどの中にも、たくさんの“学びの可能性”があります。

それぞれの遊びを規範意識の視点で見直し、指導を充実させていきましょう。

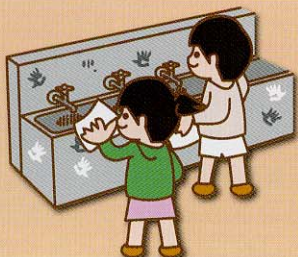


2 教師の動きで変わる学びの質！ チャンスを活かそう！

集団生活に必要な約束を守ることは、社会で過ごしていく上で身に付けてほしい大切なことです。学びのチャンスはいたるところにあります。教師の考えや態度によって学びの質が変わってきます。

🌱 見落としていませんか？ 学びの芽

4歳児が、園庭でフィンガーペインティングを楽しんでいました。活動終了後、手洗い場の蛇口や壁が子どもたちの手形や足形で絵の具だらけになっていることに気がついた園長は、A教諭に「片付けはどするの？」と尋ねました。すると、「保育終了後、私が片付けます」という答えが返ってきました。



ちょっと待って！先生！

one point advice

遊んだ後は自分で片付けるという習慣は、集団生活における大切なルールです。教師が片付けてしまえば、片付けに対する意識があいまいになります。学びのチャンスを活かして指導を行うことが大切です。



A教諭は考え直し、幼児と一緒に拭き掃除を始めました。きれいになった手洗い場を見た幼児は「びかびかになったね」とうれしそうでした。幼児は「きれいにすると気持ちがよい」ということを実感し、「遊んだ後は片付ける」ということの大切さを学びました。

3 これだけは譲れない！ きりっとした態度で教えよう！

生命や人権にかかわる規範については、あいまいにせず教えることが大切です。幼児は、周囲の人から社会や集団生活の中で守るべき約束やルールを教えてもらうことで、その必要性や守ることの大切さを学びます。

🌱 「うさぎが死んでしまう」…教師の必死な思いが幼児に伝わった！

B教諭は、C児たちが、飼育ケースの中にいるうさぎに水をかけたり、ケースを揺らしたりしておもしろがっている姿を見つけました。そこで、思わず強い調子で「やめなさい！」とC児たちの行動を制止しました。一瞬驚いた表情を見せたC児たちでしたが、「うさぎさんが死んじゃうでしょ！」というB教諭の言葉に「いけないことをしてしまった」と感じ取ったようです。



先生、そこが大切！

one point advice

絶対にしてはいけないことが世の中にはあります。そのような時には、教師は真剣な表情で、幼児に「いけない」ということを感じ取らせることが大切です。教師の真剣な表情・声の調子等から、幼児は教師の思いを心で受け止め、規範意識がはぐくまれていきます。また、このような場面では、園内での一貫した対応が求められます。



数日後、C児は「うさぎさんに水をかけちゃだめだよ。死んじゃうよ」「それにね、ケースも揺らさないでね」と、うさぎを見ている友達に伝えていました。今回の経験からC児は“生き物を大切にすること”を学んだようです。

家庭ではぐくむ規範意識の芽生え

規範意識ってむずかしそう…

子どもの規範意識をはぐくむのは
親の務め
と言われても……



どうやって
教えれば
いいの？

家族と暮らす生活の中に、規範意識をはぐくむきっかけはいくらでもあります。

親は子どもたちの生き方の**最高のモデル**です。

規範を意識する**子どもの気持ちの揺れ**につきあおう。

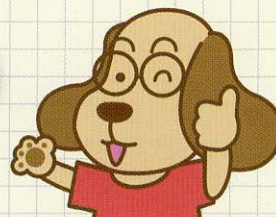
規範意識の芽生えをはぐくむには、

親の態度や言葉かけ等、**さじ加減**がポイントになります。

規範意識の芽生えをはぐくむキーワードは…

「ありがとう」・「一緒に遊ぶ楽しさ」・「お互いさま」

「むずかしそう！」なんてかまえないで、
こんなことから始めてみませんか！
「子育てのコツ」紹介します！



家族の約束を守ろう！

「ありがとう」のことが約束を守ってよかったという気付きに！

さっちゃんのうちを見てみよう

さっちゃんのうちには「食べた後は食器を流しにもっていく」という家族の約束があります。ところが、いつものさっちゃんなら自分の食器を台所にもっていくのに、今日はテレビに夢中です。お母さんはちょっとイライラ。

<どうする？ 子育てのコツ> ちょっと待ってみようかしら

いつもなら張り切ってお手伝いをするさっちゃん、今日は忘れているのかな。忙しいとつい怒ってしまうお母さんだけ、ここはちょっと待ってみるのがコツ。咳払いをする、番組が終わるまで待つ、片付けに誘うなど、いろいろな気付け方を工夫できないかしら？

さっちゃんどうしたかな？

お母さんの視線を感じたさっちゃん、やっと気付いて自分の食器を流しにもっていきました。「お母さん、遅くなってごめんなさい」他の食器も一緒にさげてくださいました。「ありがとう、さっちゃん」約束を守れてよかったとほっとしたさっちゃん。怒らずに待ってよかったとほっとしているお母さん。

我が家の約束
食べた後は
食器を流しにもっていく

ありがとう





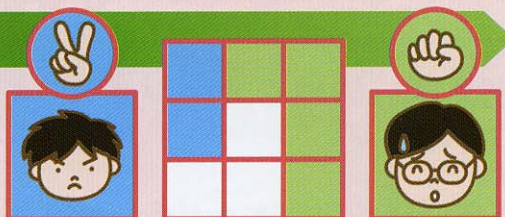
親子でルールのある遊びを楽しもう！

一緒に遊ぶ楽しさがあるからこそ、勝ったり負けたりも受け入れられる。

けんちゃんのうちを見てみよう

日頃忙しいお父さん。今日はお休みなので一緒に遊ぶチャンス！けんちゃんはお父さんとジャンケンゲーム※を始めたのですが…

けんちゃんは負けてばかり。とうとう泣き出してしまいました。困ったお父さんは、ついついおまけをしたくなりましたが…



※ジャンケンをして勝った方がマスに色を塗り、マスを多く取れた方が勝ちというゲーム。色を塗る台紙は花の形など工夫できます。

<どうする？子育てのコツ> 真剣勝負で子どもの気持ちの揺れに付き合う

ルールのある遊びは勝つこともあれば負けることもある。負けることは誰でも嫌なこと。ここはひとつ親子で真剣勝負をするのがコツ。悔しくても我慢できる子、「もう一回」と言えるたくましい子になってほしいというのが親の願い。だからこそ、我が子の気持ちにとことん付き合える。負けた悔しさを受け止めて、リベンジのチャンスをあげるのも親の愛情。時にはちょっぴりおまけをしてあげるのも…。何事もさじ加減が大事。

けんちゃん どうしたかな？

負けて悔しかったけんちゃん。もう一回勝負を挑みます。お父さんも受けて立ちます。真剣な顔でジャンケンをするけんちゃん。とうとうけんちゃんに勝利の女神がほほ笑みました！「やったー」と大喜びのけんちゃん。その様子を見てお父さんもうれしそう。



地域の人と顔見知りになろう！

「お互いさま」と声をかけあえるお付き合いが、社会のルールを学ぶきっかけに！

ともちゃんのうちを見てみよう

いつものようにお母さんは家のお掃除。ともちゃんの役目は集めたゴミをちりとりでとることです。ゴミは家の前だけでなく、お隣やお向かいの家の前にも掃き集められていきます。

“えーっ、どこまで掃くの？”ともちゃんはお母さんに聞きました。するとお母さんはにっこり笑って、「お世話になってるからお互いさまでしょ」



<こうしてみたら、子育てのコツ> ご近所さんとお付き合いする姿を見せよう

日頃からご近所さんとお付き合いしたり助け合ったりするのを子どもたちに見せるのがコツ。子どもたちはそのことから人と触れ合う心地よさを感じとることでしょう。お付き合いのマナーやルールを学ぶには、親が最高のモデルです。

ともちゃん どうしたかな？

そこに、お隣のおばさんが「あら、こんにちは」と出てきました。「いつもお掃除をしてくれてありがたいわ。お母さんに感謝しなくちゃ。ともちゃんもえらいわね。お手伝いしてるの？」
「うん。お母さん、お互いさまって言ってたよ！」
なんだか、ともちゃんもうれしくなっってにっこり。



表紙の絵から規範意識をはぐくむストーリーを作ってみましょう！

規範意識をはぐくむきっかけは、生活のどの場面でも見つけることができます。

小さなできごとや体験の積み重ねの中で、幼児が漠然と感じている生き方や人とのかかわり方に関するマナーなどを、教師がタイムリーに意識付けていくことが大切です。表紙の絵から規範意識をはぐくむ芽を見つけ、子どもの心の育ちにに応じてどのように意識付けるか、どのようなモデルを示すかなど、あなたのストーリーを作ってみましょう。

例えば、砂場で大型シャベルを使っている場面から

ストーリー1

教師は、A児にB児たちが困っていることを知らせて、周りに気を付けて遊ぼうねと声をかける。



教師がA児のシャベルの前を通過して「アッ」と砂をかけられる場面をつくり、周りの幼児に砂がかかっていることをA児に気付かせる。

ストーリー2



砂をかけられても気付かず遊んでいるB児たちに、「砂がかかってシャツの中に入っていない?」と気付かせる。

ストーリー3

注意を喚起する、謝るよう促す、困ることを主張するように誘導するなど、一つの場面でも、一人一人の幼児の発達の状況や、その場面に居合わせる幼児集団の発達の状況によっても教師の援助は異なります。

あなたが作ったストーリーを 国公幼の報告書に掲載 しませんか?



表紙の絵から「自分だけのストーリー」を作ったら、是非、国公幼事務局にメールで送ってください。

12月末日までに送られた中から、全国の参考になるストーリーを報告書に掲載させていただきます。

また、平成23年6月末日までに送られた中から数点、平成23年度全国公立幼稚園教育研究協議会千葉大会の分科会やポスターセッションでご紹介します。

素敵なストーリーを考えて、来年夏、規範意識について論じ合いましょう。

情報コーナー

あなたもやってみませんか?

平成21年度特別事業報告書「人とのつながりを広げよう、親子で一緒に楽しもう」（平成22年3月配布）の巻末に、規範意識に関するアンケート用紙を掲載しています。

アンケートに答えてみることで、自分が規範意識をどう捉えているか振り返るきっかけになります。自分の考え方や傾向をつかみ、今後の指導や保護者とのかかわりに役立ててください。

なお、同報告書は下記のホームページでも見ることができます。

このリーフレットは国公幼のホームページに掲載されています。自由に取り出して、ご活用ください。

国公幼

検索

発行日 平成22年10月1日

発行者 全国公立幼稚園長会 会長 池田多津美

住所 〒113-0034

東京都文京区湯島 1-5-28 ナーベルお茶の水

T E L 03(5684)2240 / FAX 03(5684)2174

メールアドレス entyoukai@kokkoyo.com

ホームページ <http://www.kokkoyo.com>